



ともに生き、ともに育むまち
 歴史と文化がくらしの中に息づく
 ”新斑鳩の里“



ようこそ幽玄の世界へ
 ～ 太子ロマン斑鳩の里 観月祭 ～

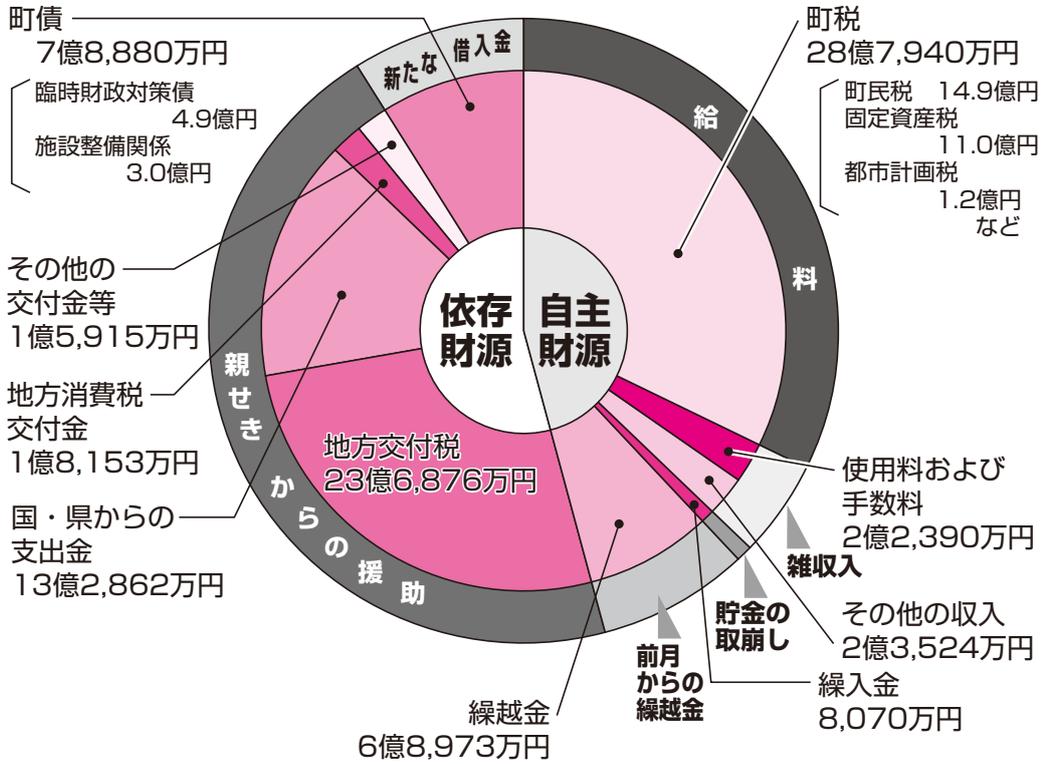
2013
 11
 No. 578

2 斑鳩町の家計簿
 ～平成24年度財政状況～
 — 特集

- 8 まちの話題
- 10 いにしえの風 ～斑鳩文化財センターだより～
- 11 ちょっと知ってる？斑鳩町
- 12 わたしが私らしくあるために
- 13 バゴちゃんの地球となかよし
- 14 まちの情報
- 22 ほけんだより

計 決 算

歳入 89億3,583万円



平成24年度財政状況

斑鳩町の家計簿

家計にたとえると

● 1か月の総収入 … 31万4千円

斑鳩家の収入	収入額 (円)	構成比 (%)	平成24年度の歳入
給料	101,000	32.2	町税
雑収入 (内職・パート収入や不動産収入)	16,000	5.1	使用料および手数料 その他の収入
貯金の取崩し	3,000	1.0	繰入金
前月からの繰越金	24,000	7.6	繰越金
親せきからの援助	142,000	45.2	地方交付税 国庫支出金 県支出金 地方消費税交付金等
新たな借入金	28,000	8.9	町債
合計	314,000		

平成24年度の決算がまとまり、9月の町議会定例会で認定されました。
みなさんに納めていただいた大切な税金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。

斑鳩家の家計簿は、斑鳩町の決算額を人口28,455人(平成25年3月末現在)で割った数字を、1か月の家計にたとえています。



一般会

おもな用語チェック

- 歳入の主な用語録**

町 税 みなさんが納めた町民税、固定資産税等

地方交付税 所得税等、国が徴収した税金のなかから町の財政状況に応じて交付される交付金

町 債 大きな事業をおこなうための国や金融機関からの借入金
- 歳出の主な用語録**

人 件 費 職員や特別職の給与、議員および各委員会の委員報酬

扶 助 費 子ども・児童手当、子ども・老人・重度障害者の医療費助成金等

公 債 費 町債(借入金)の返済金

物 件 費 消耗品や交際費、業務委託料等

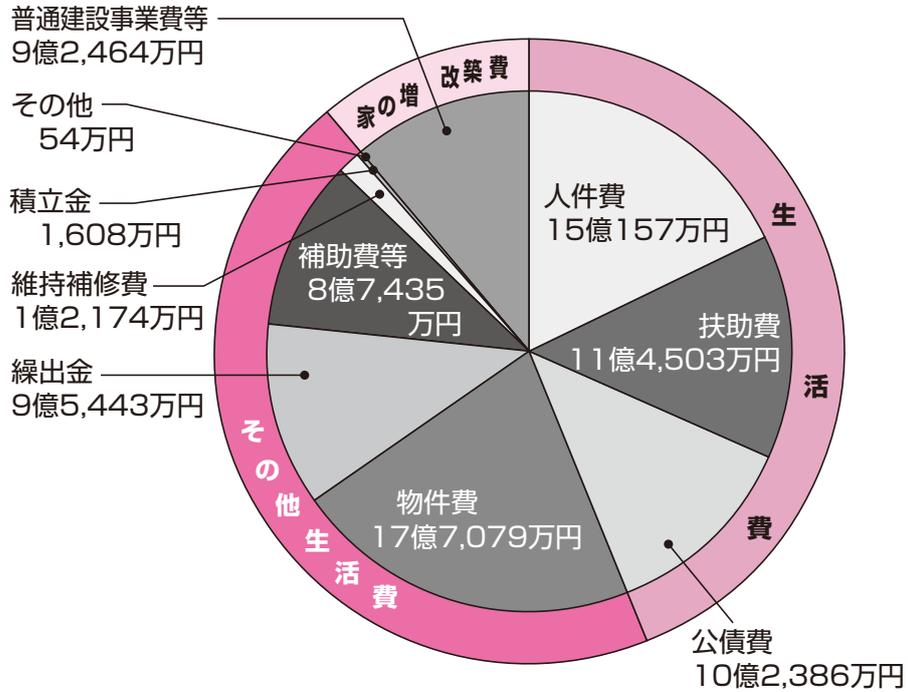
繰 出 金 国民健康保険等の特別会計へ繰り出して使ったお金

補助費等 各種事業や団体への補助金や負担金

維持補修費 公共施設の修繕料等

普通建設事業費 道路等の整備等に使ったお金

歳出 83億3,303万円



斑鳩町の財政を、

〈平成24年度会計別決算〉

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	89億3,583万円	83億3,303万円
特別会計	65億3,789万円	69億5,427万円
国民健康保険事業	30億5,025万円	35億549万円
大字龍田財産区	317万円	40万円
公共下水道事業	13億319万円	13億306万円
介護保険事業	18億6,639万円	18億3,048万円
後期高齢者医療	3億1,489万円	3億1,484万円
総合計	154億7,372万円	152億8,730万円

● 1か月の総支出…29万3千円 (来月への繰越金2万1千円)

斑鳩家の支出		支出額(円)	構成比(%)	平成24年度の歳出
生活費	食費	53,000	18.1	人件費
	医療費、教育費等	40,000	13.7	補助費
	ローンの返済	36,000	12.3	公債費
その他生活費	光熱水費・消耗品等	62,000	21.2	物件費
	家の修繕費	4,000	1.4	維持補修費
	自治会費・スポーツクラブ会費等	31,000	10.6	補助費等
	貯金	1,000	0.3	積立金
	子どもへの仕送り	34,000	11.6	繰出金
家の増改築費	家の増改築費用	32,000	10.9	普通建設事業費等
合計		293,000		

監査委員の意見

平成24年度の一般会計・特別会計の決算審査がおこなわれ、佐伯知輝・中川靖広両監査委員から意見をいただきました。その概要をお知らせします。

■ 審査の結果

審査に付された一般会計および特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書の各計数は、関係法令に準拠して調製され、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されているものと認められた。

■ 決算の総括

当年度の連結ベースでの純計決算額は歳入145億42百万円、歳出143億55百万円で、差引形式収支は1億87百万円の黒字である。前年度と比較すれば歳入約8億48百万円、歳出約9億9百万円の増で、歳入の増加に比べ歳出の増加が上回ったことから形式収支では60百万円の減少となった。

内容的には、形式収支と実質収支は前年度を下回るものの黒字を維持しているが、単年度収支では前年度の9百万円の赤字から45百万円の赤字へ赤字幅が膨らんでいる。これは町債の発行を減らし前年度からの繰越金を使ったために、一般会計が71百万円の赤字となったことによるものである。町債に頼れば、見掛け上

収支がよくなっても将来に負担を残すことになるので、単年度収支が赤字となっても止むを得ないものと思われるが、これを機に今後の予算計上を考慮する必要がある。

平成24年度から衛生処理場の稼働を止め、ごみ焼却処理を業者に委託しているが、旧の焼却施設が老朽化したため、自己処理するなら焼却炉をつくりかえる必要がある。新規につくれば安く見積もっても50億円かかるので、ごみ積替え施設を新築し焼却処理を業者委託するほうがコストは安くなる。しかしながら、委託処理料金はごみの排出量に比例することから、今以上に分別収集に努め、可燃ごみの排出量を削減するよう町民一人ひとりの協力が必要であることはいうまでもない。

町の所有する主な施設の維持管理費は平成24年度で約5億6百万円かかっている。これらの維持管理費は利用者の増減に関わりなく発生するものであり、施設をつくれれば管理費用が発生する。人口減少社会に入った今日、将来を見据え、施設の統廃合についても検討していく時期に来ているのではないだろうか。

土地が必要となる施策について、遊休地の利活用を考えるなど、遊休地の早期解消に努めるべきである。

決算審査意見書は、役場2階情報公開窓口でご覧いただけます。

監査委員室（☎内線305）

■ 財産の状況

財産の種類	平成24年度末現在高
土地	353,995㎡
建物	92,335㎡
有価証券	104万円
基金	32億5,628万円

■ 基金の内訳

財政調整基金	18億6,009万円
減債基金	1億5,701万円
公共施設整備基金	0円
都市計画事業整備基金	0円
福祉基金	3億2,617万円
文化振興基金	8,657万円
斑鳩の里歴史文化遺産保存・活用基金	1,078万円
スポーツ振興基金	2,095万円
土地開発基金	7億4,672万円
国民健康保険財政調整基金	7万円
介護保険給付費準備基金	4,792万円
合計	32億5,628万円

■ 町債の状況

会計	平成24年度末現在高
一般会計	98億9,946万円
特別会計	82億9,354万円
合計	181億9,300万円

借入先	平成24年度末現在高
財政融資資金	59億3,734万円
旧簡易生命保険資金	15億95万円
市中銀行	32億7,484万円
地方公共団体金融機関	71億4,674万円
奈良県	2億7,554万円
旧郵便貯金資金	5,759万円
合計	181億9,300万円

平成24年度 斑鳩町財政健全化の状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成24年度普通会計の健全化判断比率および公営企業の資金不足比率についての審査がおこなわれ、佐伯知輝・中川靖広両監査委員から意見をいただきました。その概要をお知らせします。

〔審査の結果〕

1. 総合意見

審査に付された健全化判断比率・資金不足比率およびその基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

2. 個別意見

審査の対象である①実質赤字比率、②連結実質赤字比率はともに決算が黒字であること、③実質公債費比率は早期健全化団体の基準である25%を、④将来負担比率は同350%を下回る7.1%および21.8%であり、かつ実質公債費比率は前年度比率より0.3ポイント改善しているところからいずれも問題はない。

⑤資金不足比率

〔水道事業会計〕

判断基準の資金不足計算が流動比率によるところから、当年度決算における流動比率は30.4%と資金過剰の状態を示しており、また1年以内に返済予定の企業債（借入金）を流動負債に加えてもこれが17.6%となり資金不足にはならない。

したがって資金不足比率は本来算出されないが、前記資金過剰額を年間営業収益で除した比率（マイナスの資金不足比率）を算出すれば28.96%である。

〔公共下水道事業特別会計〕

決算の差引収支額は13万5千円で全額が翌年度へ繰り越すべき財源であることから、実質収支は0円で資金不足は生じておらず、資金のマイナス補正をおこなうべき繰上充用額、支払繰延額、事業繰越額および建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債のいすれもないところから実質的資金不足もない。よって資金不足比率は0%で、経営健全化基準の20%を下回って問題はない。

3. 是正勧告を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

平成24年度決算から

平成24年度に斑鳩町の一般会計に入ってきたお金（歳入）は、89億3,583万円、使ったお金（歳出）は、83億3,303万円、差し引き、6億279万円となりました。ことから、平成25年度に繰り越す財源、4,006万円を差し引いた金額（実質収支額）は、5億6,274万円の黒字でした。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を受けて作成した健全化判断比率（下図参照）については、いずれの比率についても早期健全化団体となる基準を大きく下回っており、現段階については健全な状況となっています。

景気は緩やかに回復しつつあるものの、少子高齢社会を迎え、財政状況は今後ますます厳しくなると予想されますが、健全な財政運営に努めていきます。

予算・決算についての問合せ
企画財政課（☎内線2006）

■ 斑鳩町の健全化判断比率の状況（平成24年度）

（単位：%）

指標	区分	平成24年度 (A)	平成23年度 (B)	(A) - (B)	指標の概要
実質赤字比率	斑鳩町の比率	— (Δ10.09)	— (Δ11.40)	1.31	福祉、教育、まちづくり等をおこなう地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を把握する指標
	早期健全化基準	14.66	14.67		
	財政再生基準	20.00	20.00		
連結実質赤字比率	斑鳩町の比率	— (Δ8.07)	— (Δ8.40)	0.33	すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を把握する指標
	早期健全化基準	19.66	19.67		
	財政再生基準	30.00	30.00		
実質公債費比率	斑鳩町の比率	7.1	7.4	Δ0.3	借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を把握する指標
	早期健全化基準	25.0	25.0		
	財政再生基準	35.0	35.0		
将来負担率	斑鳩町の比率	21.8	17.9	3.9	地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを把握する指標
	早期健全化基準	350.0	350.0		
	財政再生基準	—	—		

注）実質収支または連結実質収支が黒字である場合は、「実質赤字比率」または「連結実質赤字比率」は負の値で表示しています。

こんな事業に お金を使いました

1 文化の香り高く心豊かなまちづくり



▲世界的に活躍するニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの公演を開催しました。

●東日本大震災からの復興を願い、「心」をキーワードに、人間の幸せや豊かさについて考える機会として、斑鳩シンポジウムを開催しました。



▲奈良・斑鳩の地をこよなく愛した會津ハ一の歌碑の寄附を受けたことからその除幕式を開催しました。

●法隆寺ゆかりの都市文化交流協定締結記念事業として、小田原市の歴史や文化財を紹介する展示会およびシンポジウムを開催しました。

●イベント情報や文化・芸術活動の情報発信の充実を図るため、いかるがホール町民ロビーに設置しているマルチビジョンのリニューアルおよび映像コンテンツ制作等に取り組みました。

2 すこやかに生き生きらせるまちづくり

●あわ保育園の入所希望児童数の増加に対応するため、給食調理室を新設するとともに、旧給食調理室を保育室に改修しました。

●一般不妊治療や不育治療を望む夫婦に対し、その経済的負担の軽減を図るため、治療に要する費用の一部を助成しました。

●青少年期における野外体験活動の重要性から、青少年の健全な育成の推進を図るため、野外活動施設を利用する団体を対象に、交通費等経費の一部を助成しました。



▲夏季における教育施設の環境整備として、東幼稚園のプールを改修しました。

●ロタウイルス胃腸炎を予防するため、生後6週から32週までの乳児に対して、ロタウイルスワクチン予防接種費用の一部を助成しました。

平成24年度に
おこなった
主な事業を
紹介します。



4 安全で快適なまちづくり

●衛生処理場での焼却廃止に伴い、平成24年度から可燃ごみの焼却処理を民間業者に委託しました。

●平成24年10月に、県内の町村では初めてとなる斑鳩町地球温暖化対策地域協議会を設立しました。

●火災や不審者の侵入による犯罪の発生の原因となる空き家の実態調査をしました。

●自主防災組織の育成並びに



▲奈良県消防協会生駒南支部の代表として、斑鳩町消防団が第24回奈良県消防操法大会に出場しました。

活動を支援し、地域の防災力の強化を図りました。

3 潤いのある魅力的なまちづくり

●歴史的な町並みの魅力を広く発信していく歴史的町並み保全・活用事業の一環として、龍田地区町並み保全・活用にかかる基本方針を策定するための基礎調査を実施しました。

●浸水対策の基礎データを確立するため、斑鳩町内全域の水路の現況調査を実施しました。

●町営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげることを目的として、町営住宅長寿命



▶都市計画道路法隆寺線歩道照明(太陽光発電)

化計画を策定しました。

●歩行者の夜間の通行の安全性や車両からの歩行者の視認性を向上させるため、都市計画道路法隆寺線歩道照明を新設し、道路機能の充実を図りました。

6 とともに築く協働のまちづくり

●斑鳩町土地開発公社については、社会的役割および所期の目的を達成したことから、平成24年10月23日に解散し、残余財産を町に帰属しました。

●住民福祉の増進と、ふれあい豊かな地域社会の育成を図るため、地域住民のコミュニティ活動の拠点として斑鳩町法隆寺五丁地区地域交流館を整備しました。

●自治会等がおこなう地域集会所の整備に対し、補助率



▲伝統文化の継承と地域コミュニティの育成、観光の振興を図るため、斑鳩の里ふるさと秋祭りを開催しました。

および補助対象を拡充し、補助金を交付しました。

5 活力とにぎわいのあるまちづくり

●消費生活の安全性と生活知識の向上を図るため、消費生活相談を実施するとともに、消費者啓発に努めました。

●観光客の確かかつスムーズな誘導を図るため、観光案内サイン等の現地踏査を実施し、現状の設置状況の実態把握をしました。

●そば・菜の花・黒米・じゃがいもの栽培、普及をおこない、遊休農地解消に努めました。また、栽培サポーター



▲産業まつりを開催し、町内の農業、商工業、観光を再認識する機会をつくり、産業全体の活性化を図りました。

として、そば・じゃがいもを栽培することで、農と食への理解を深めてもらいました。